

特別寄稿—童門冬二—
なぜ今、明智光秀が人気なのか?……………6

巻頭特集
明智光秀、その謎多き出生地を美濃路に辿る……………8

- 謎1 光秀、出生の地「可児市」説とは……………10
 - 謎2 光秀、出生の地「多賀町」説とは……………12
 - 謎3 光秀、出生の地「大垣市」説とは……………13
 - 謎4 光秀、出生の地「恵那市」説とは……………14
 - 謎5 光秀、出生の地「山県市」説とは……………14
 - 謎6 光秀の妻、出生の地「土岐市」説とは……………15
- 明智光秀の生まれた年は?
そして、父親は誰……………16

- 青年期の謎を探る……………18
- 謎7 どこに住んでいたのか……………20
- 謎8 誰に仕えたのか……………22
- 謎9 細川藤孝とどのように知り合ったのか……………22
- 謎10 どのようにして義昭と出会ったのか……………24
- 謎11 どのような性格だったのか……………24

信長との出会いの謎をひもとく……………26

- 謎12 どのようにして信長と出会ったのか……………28
- 謎13 なぜ義昭を見限ったのか……………30
- 謎14 金ヶ崎の退き口はどのように参加したのか……………32
- 謎15 比叡山焼き討ちは光秀を出世させたのか……………32

- 出世の謎を知る……………34
- 謎16 なぜ京都支配を担当したのか……………36
- 謎17 光秀の家臣団はなぜ有能なのか……………38
- 謎18 なぜ丹波攻めの総指揮官となったのか……………42
- 謎19 なぜ信長軍団筆頭まで上り詰めたのか……………44
- 謎20 光秀は鉄砲の名人だったのか……………46

- 光秀の政治手腕を探る……………48
- 謎21 どのように良政を敷いたのか……………50
- 謎22 家中軍法とはどのような法律か……………52
- 謎23 どのような城に住んだのか……………54
- 本能寺の変の謎を辿る……………56
- 謎24 変の前に光秀はどのような行動をしていたのか……………58
- 謎25 愛宕山で何があったのか……………60

福知山城から見える雲海
福知山城より大江山にかかった雲海を臨む。酒呑童子の伝説が残る山々にかかる雲は幻想的な光景。戦国期、この雲海を眺めた光秀の胸中はどうなものであったのだろうか。

- 謎26 誰かに相談したのか……………70
- 謎27 なぜ直前まで教えなかったのか……………72
- 謎28 どのようなルートで攻めたのか……………74
- 謎29 当初、どこを目指したのか……………76
- 謎30 どのように行動したのか……………78
- 謎31 なぜ信忠も殺したのか……………80
- 謎32 どのような史料があるのか……………82
- 謎33 謀反の理由はどのような説があるのか……………84

明智家と細川家の関係……………86

- 光秀の最期の謎を追う……………88
- 謎34 変の直後に何をしたのか……………90
- 謎35 なぜ細川親子は味方しなかったのか……………92
- 謎36 なぜ筒井順慶は味方しなかったのか……………94
- 謎37 信長の重臣たちは何をやっていったのか……………96
- 謎38 どのように朝廷に対応したのか……………98
- 謎39 中国大返しはなぜ可能だったのか……………100
- 謎40 光秀はどのように準備していたのか……………102
- 謎41 どのような戦いだったのか……………104

光秀の血筋の謎に迫る……………106

- 謎42 光秀はどのような最期を遂げたのか……………108
- 謎43 明智秀満の最期は……………110
- 光秀の血筋の謎に迫る……………112
- 謎44 本妻は賢母だったのか……………114
- 謎45 子どもたちはどうなったのか……………116
- 謎46 どのような家臣がいたのか……………118
- 謎47 細川ガラシャの謎……………120

光秀の伝説の謎を探る……………122

- 謎48 光秀は逃亡したのか……………124
- 謎49 光秀は天海なのか……………126
- 謎50 光秀と坂本龍馬の意外な関係は……………128
- 光秀の生涯を彩った人たち……………130
- 織田信長、羽柴秀吉……………132
- 足利義昭、細川藤孝……………134
- 斎藤利三、筒井順慶……………136
- 朝倉義景、長宗我部元親……………138

※大扉「ときは今、あめが下しる五月哉」
愛宕山連歌会にて、光秀が詠んだ一句。「ときは」は光秀の出身である土岐氏、「あめ」は天、つまり天下のこと、「下知る」は命令を意味し、この歌は「土岐氏から出た明智光秀が天下に命令を下す」と解釈され、謀反の予告ではないかといわれている。
※明智光秀の謎には諸説あり、今なおその真相は究明されていません。
本書では、様々な説を広く取り入れ、あらゆる角度から解説していますがいずれも断定するものではありません。